

---

# 僕の彼女を紹介します。

苺のタルト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕の彼女を紹介します。

### 【コード】

N85390

### 【作者名】

苺のタルト

### 【あらすじ】

通りで偶然鉢合わせた友人から、彼女だという少女を紹介される。

こんにちは。久しぶり。

こんな所で会うなんて、奇遇だね。

丁度良かった。

君に会わせたい人が居るんだ。

紹介するよ。

僕の、彼女だ。

ふふ、可愛いだろう？

円らかな瞳は澄んだ空の様な青。

綺麗に巻かれた髪は艶やかなブロンド。

小さな唇はいつも極上の笑みを浮かべてくれる。

張りの有る頬は薄らと赤い。

触れば温まった僕の手を優しく冷やしてくれる。

久しぶりのデートだからね。嬉しいんだよ。

ほら、恥ずかしがらなくてもいいんだ。

顔をあげて、笑ってごらん？

そう、ああ、最高に可愛いよ。

…何を驚いているんだい？

ああ、彼女の魅力に君も魅せられてしまったのかな？

駄目だよ。君がいくら懇願しても彼女は渡せない。

怪訝な顔をしてるね。

僕の彼女への愛情が理解できない？

そうか、君はまだ本当の恋をしていないんだね。

可哀想に。

君も彼女のような可憐な存在を探してみればいい。

彼女は最高だよ。

いつも笑顔で。

文句は言わない。

僕が選んだ服も喜んで着てくれるし。

一緒にお風呂にだって入る。

淋しい夜だって傍にいてくれる。

こんな完璧な彼女は他には居ないよ。

そうだろう？

くすくす。

じゃあね、僕はそろそろ行かないと。

今日は彼女と遊園地へ行く予定なんだ。

観覧車から街の夜景を眺めるんだ。

中々にロマンチックだと思わないかい？

今度会えたら教えてあげるよ。

ばいばい。

(後書き)

不朽の姿で男を魅せる少女人形。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8539o/>

---

僕の彼女を紹介します。

2010年11月12日00時47分発行